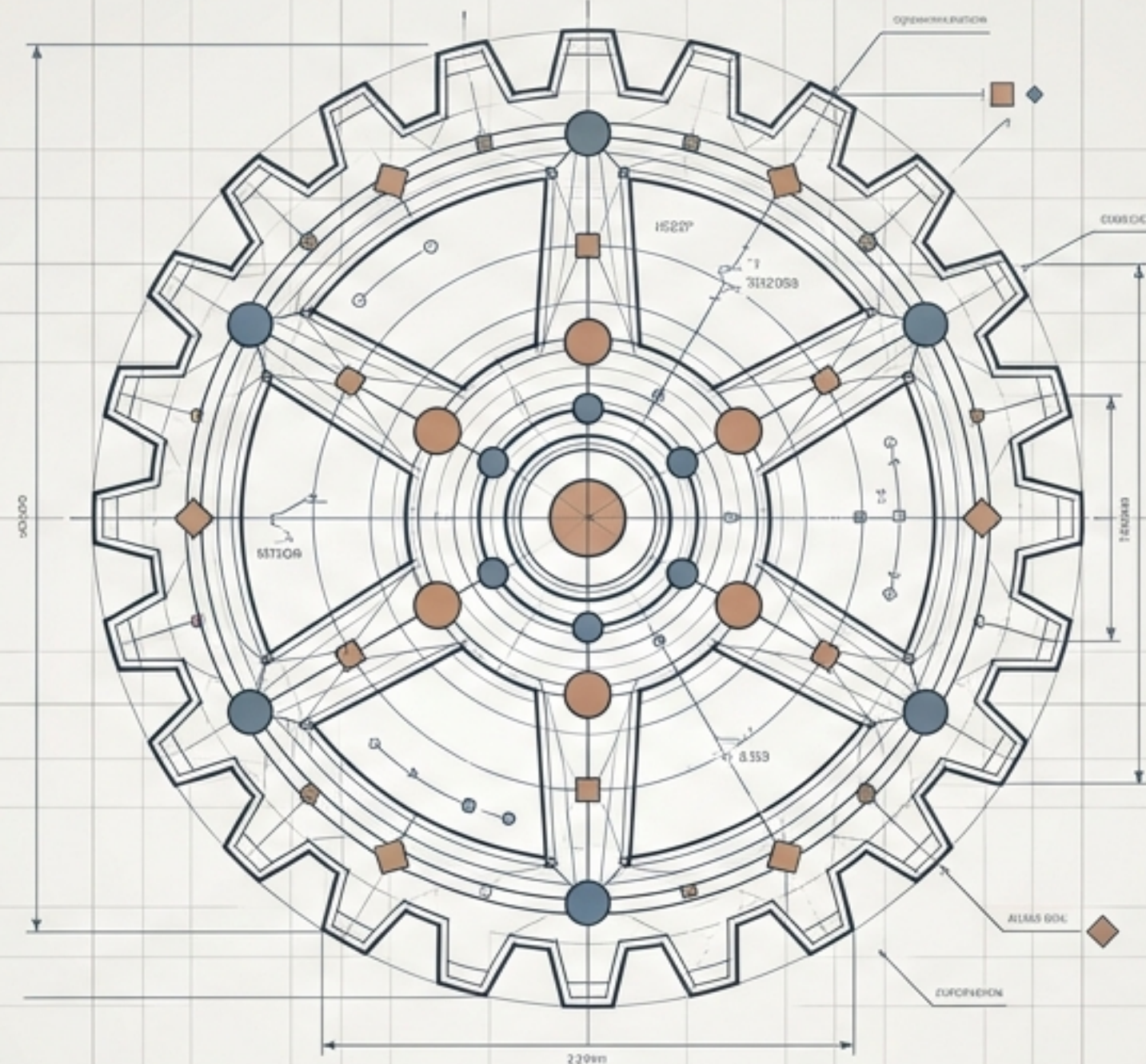


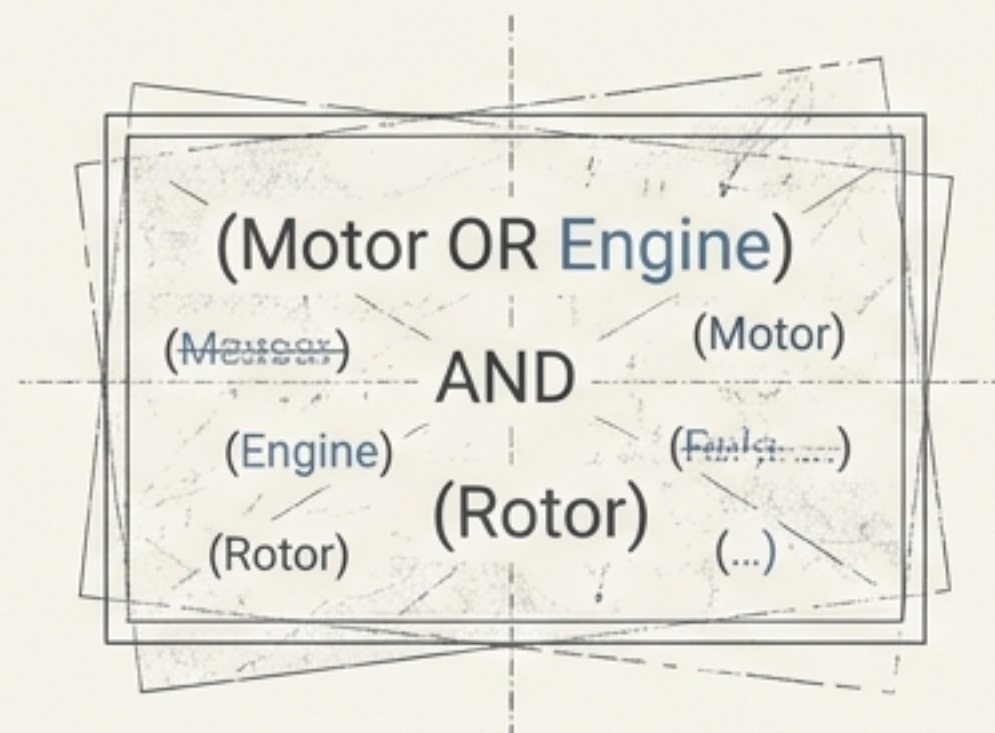


知財エコシステムの再構築：グラフAIが導く次世代の特許インテリジェンス

IPRally プラットフォームの包括的評価・技術検証レポート

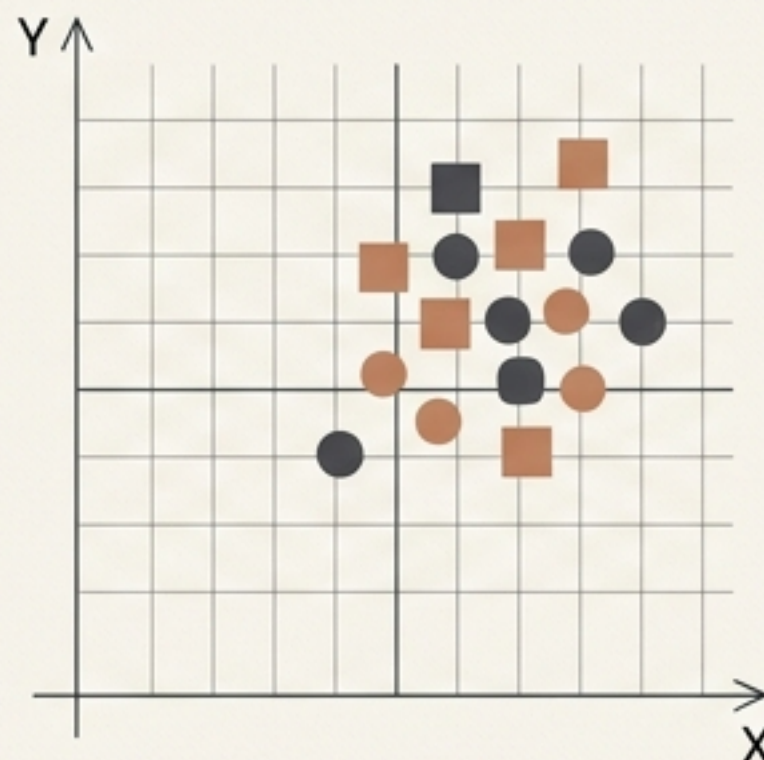
グラフAI技術、製品アーキテクチャ、競合優位性および市場評価に関する客観的分析

キーワード検索から構造的理解への技術的進化



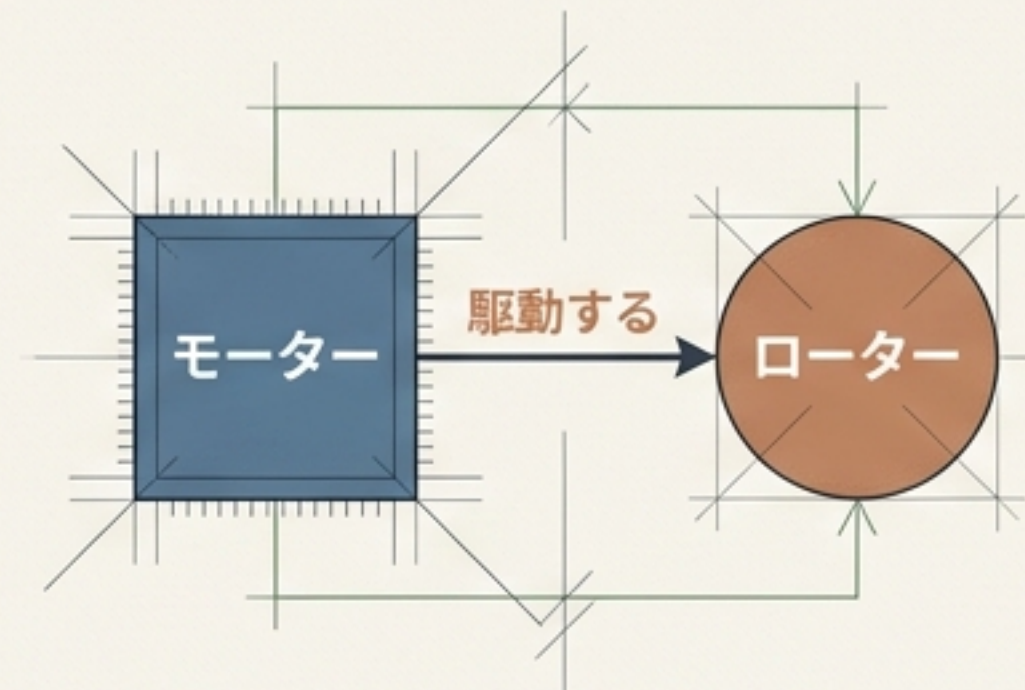
Stage 1: テキスト（レガシーな ブール検索）

単語の羅列として認識。文脈を欠き、ノイズが多く手作業による精査が不可欠。



Stage 2: ベクトル (セマンティック検索)

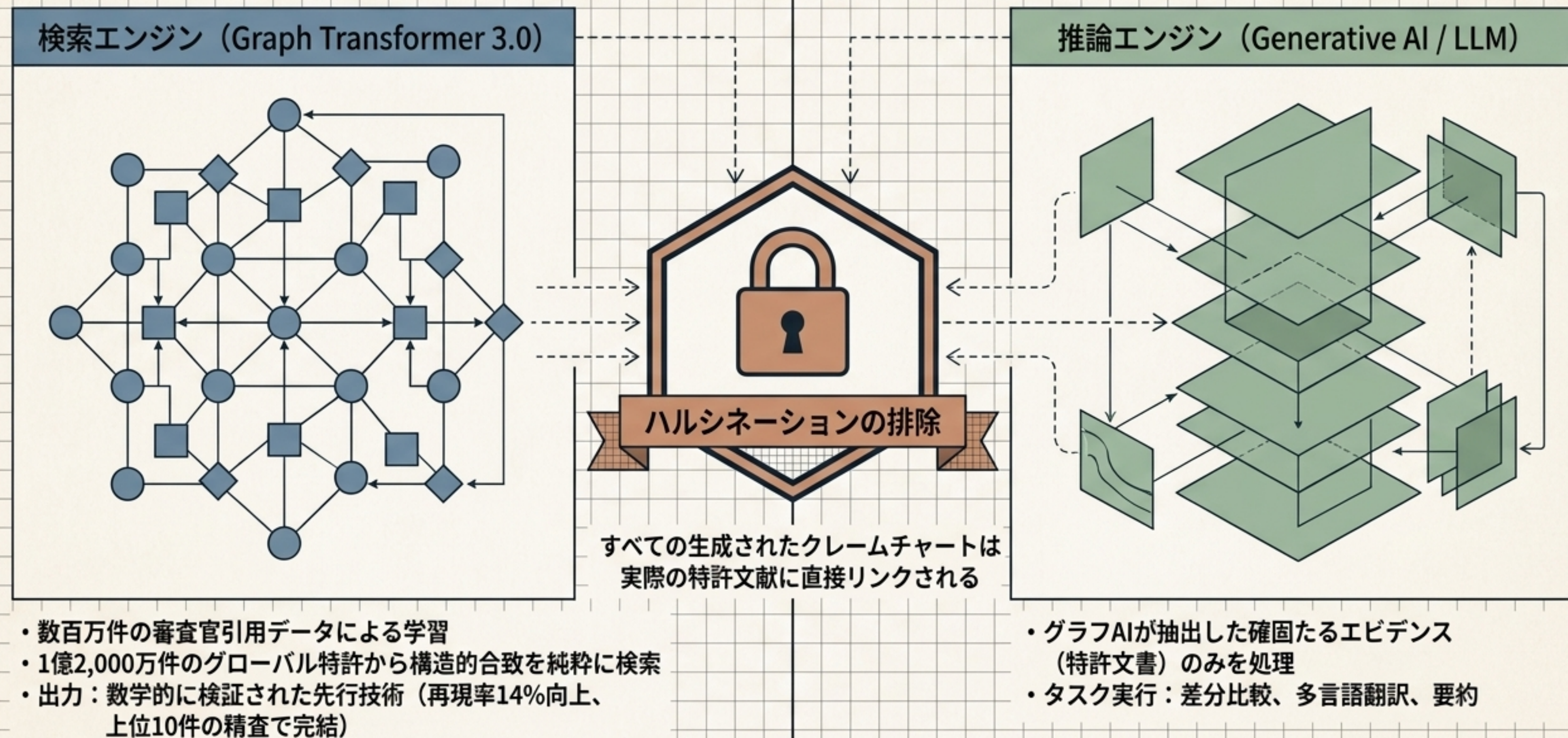
文脈の類似性を理解するが、特定の機能的関係性を特定できず、ハルシネーションの温床となる。



Stage 3: グラフAI (IPRallyのアプローチ)

物理的・機能的・論理的関係性を人間の審査官と全く同じロジックで構造化。同義語や抽象概念を本質的に理解する。

検索の正確性と生成の柔軟性を両立するハイブリッド・アーキテクチャ



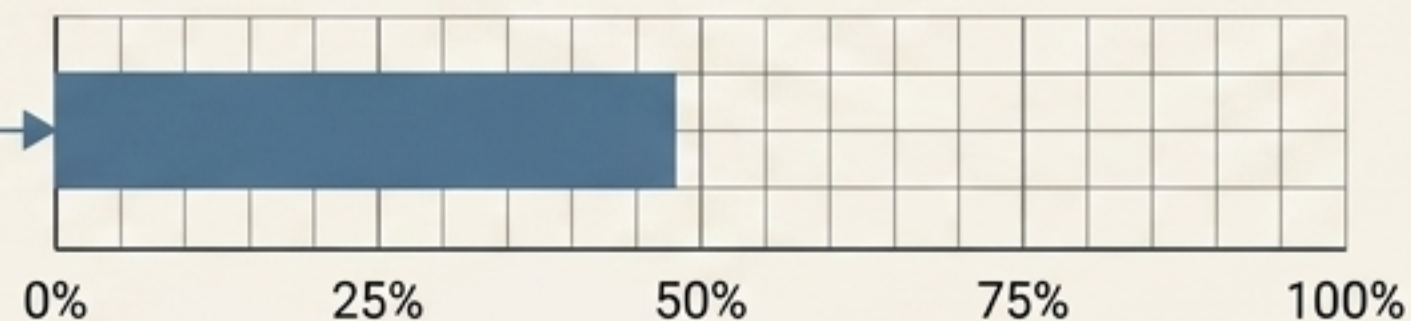
シャーププレイ値 (Shapley Value) によるAI推論の完全な可視化

テキスト入力 (TEXT INPUT)

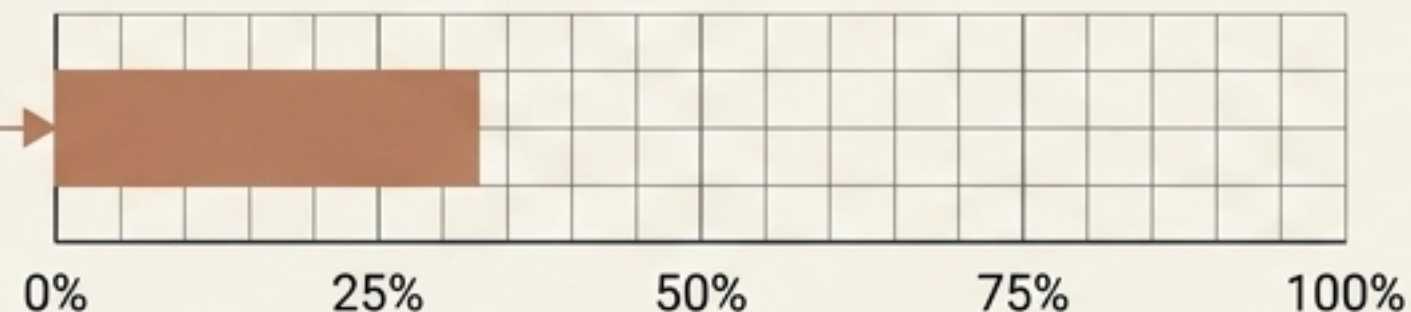
圧縮機 と 熱交換器 を備えた冷却システム...

診断的読み出し (DIAGNOSTIC READOUT)

[Node: 圧縮機] | 適合寄与度: 48%



[Node: 熱交換器] | 適合寄与度: 32%



ブラックボックスの解消

IPRallyはナレッジグラフ内の特定ノードをノイズに置き換え、適合スコアへの影響を正確に算出。これにより知財専門家はAIの論理を法的に検証し、信頼することが可能になる。

グローバル企業の厳格な要求を満たすエンタープライズ・トラスト層

コンプライアンスと認証

- ISO/IEC 27001:2022 認証取得 (2026-2029)
- EU AI Act 適合性証明書 (2025)
- UK Cyber Essentials / SOC 2 Type II

データ保護・プライバシー

ゼロ・データ学習ポリシー (Zero Data Training Policy)。ユーザーデータや検索入力は100%暗号化され、基盤モデルの学習には一切使用されない。

インフラストラクチャ

Google Cloud Platform (GCP) 稼働。EU/ベルギーリージョン内にデータを完全隔離・配置。

Trusted by:

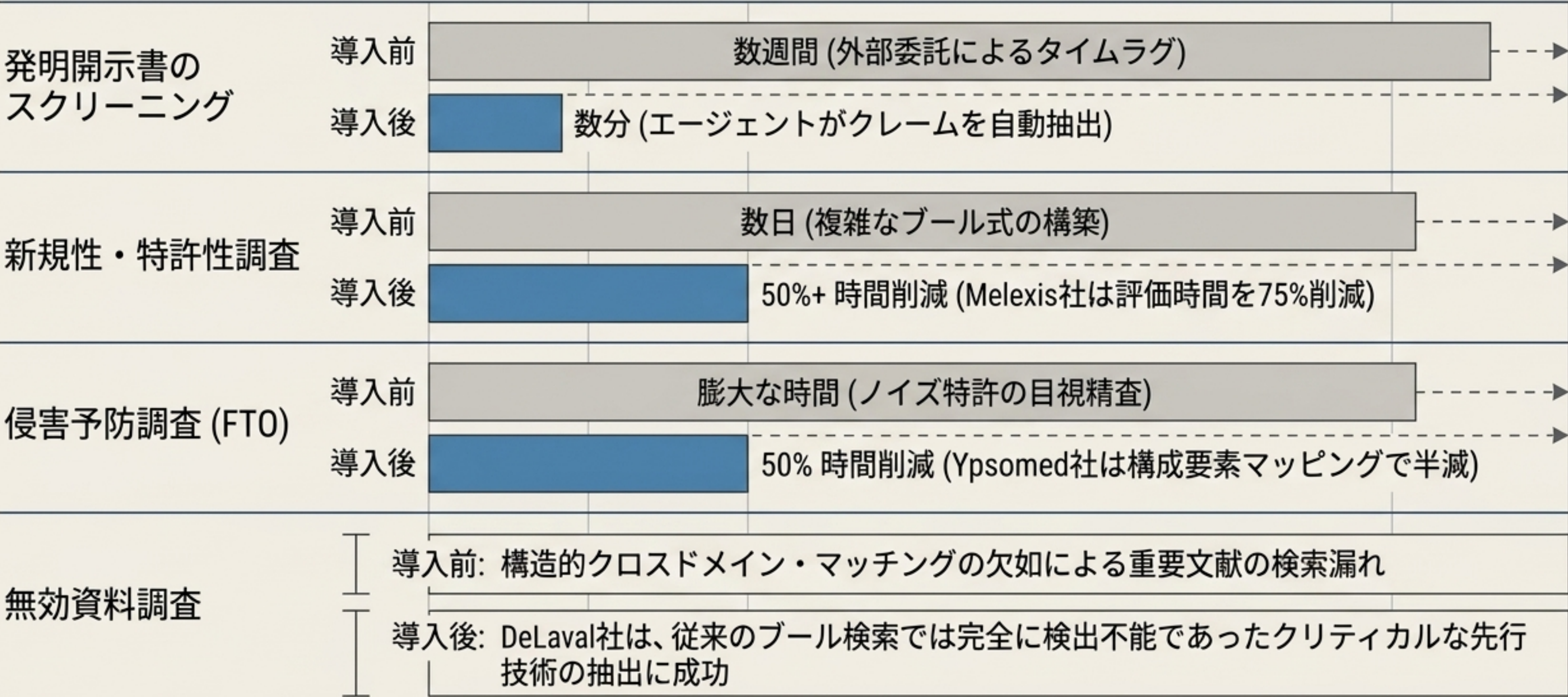
Google

Dolby

RPX

DeLaval

グラフAI導入による知財ワークフローの劇的な高速化と精度向上

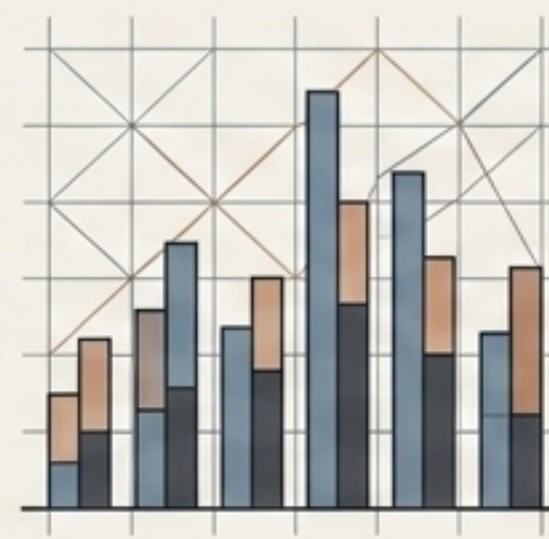


特許ライフサイクル全体を網羅する製品ポートフォリオ



IPRally Agent (自動調査エージェント)

自然言語や文書入力から技術的特徴を自動抽出し、瞬時に先行技術との合致箇所を特定。インタラクティブなクレームチャートを即座に生成。



IPRally Intelligence (マクロ分析)

数百～数千件の特許群に対するポートフォリオ解析。技術的なホワイトスペース（空白地帯）や競合他社の戦略的シフトを特定。



IPRally Protection (権利化支援)

明細書作成のためのAI Copilot。「最も近い先行技術」をリアルタイムでマッピングし、執筆中に安全な権利範囲の調整を支援。

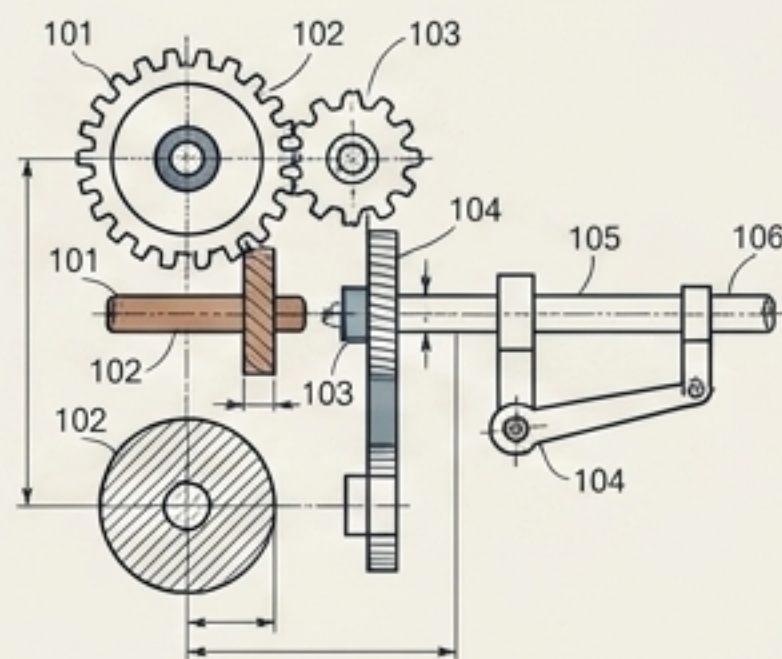


Image Search & Custom Classifiers

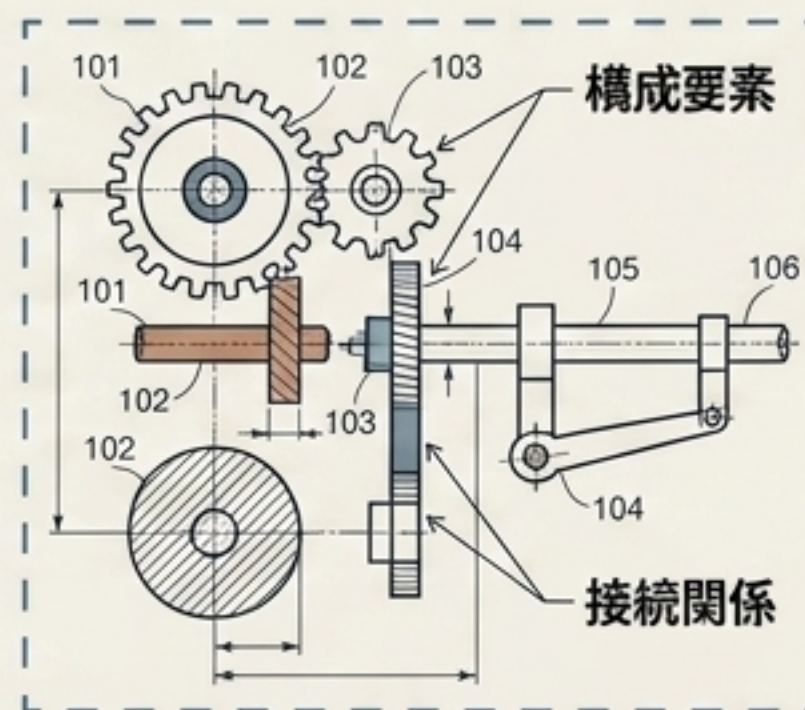
機械図面やブロック図からマルチモーダルで構造的意図を抽出。また、独自の分類器によるノイズのない監視アラートを提供。

画像の「ピクセル」ではなく「技術的思想」を解読するマルチモーダル検索

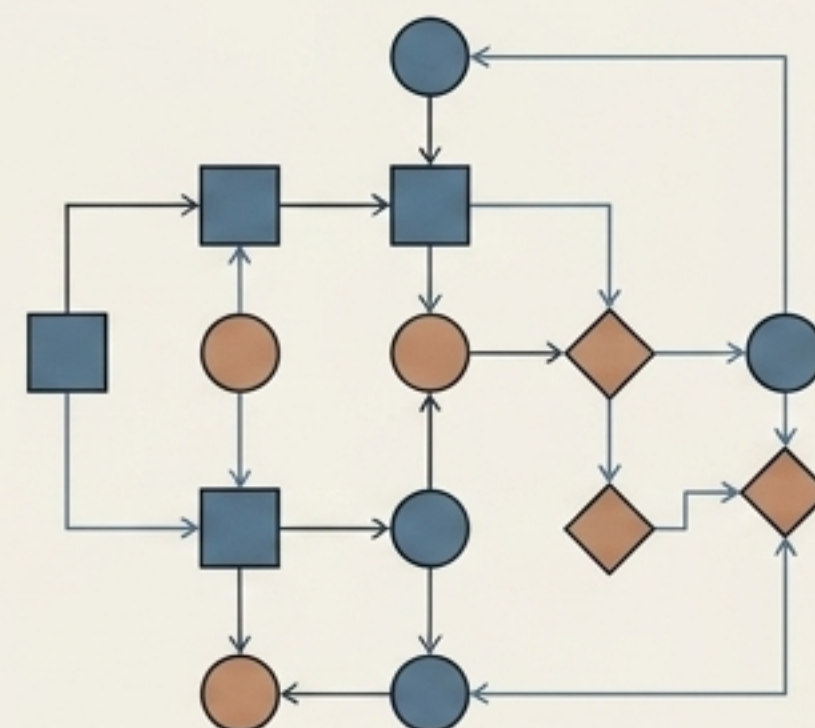
Step 1: 画像入力



Step 2: 技術的思想の抽出



Step 3: グラフへの変換と検索



機械図面、ブロック図、フローチャート、化学構造、製品仕様などをアップロード。

AIはピクセル単位の視覚的類似性を探すのではなく、実際の「Technical Content（構成要素と接続関係）」を解読。

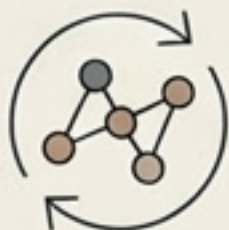
図面をナレッジグラフに変換。図面が存在せず「テキストのみ」で記述された特許であっても、抽出された技術的思想を基に合致する先行技術を発見。

先行技術をリアルタイムに回避する動的ドラフティング (Protection)

1. 弁理士・発明者が明細書やクレームを執筆

【請求項1】

本発明は、第1の構成要素と、前記第1の構成要素に結合された第2の構成要素と、前記第1および第2の構成要素の相対的な動きを制御する制御装置とを備え、前記制御装置は、センサーからの入力に基づいてリアルタイムで動作を調整することを特徴とするシステムである。...

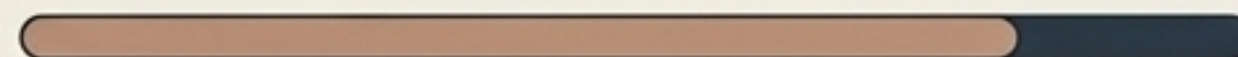


バックグラウンドでグラフAIが常時稼働

2. Closest Prior Art (最も近い先行技術) のリアルタイム提示

【警告】 重複する先行技術が検出されました

重複率 (Overlap) : 82%



該当ドキュメント : JP 2022-XXXXXX A (出願人 : YYY社)

【要約】 ... 第1の要素と第2の要素と、それらを制御する装置とを備え、センサー入力に基づいて動作を調整するシステム...

圧倒的な優位性：権利範囲の安全な調整

執筆したクレームが広すぎる場合、即座にそれを検知し、出願前に調整することが可能。
「プランニングモード」により、AIの提案を人間が完全にコントロールしながら、拒絶理由を未然に防ぐ堅牢な特許網を構築。

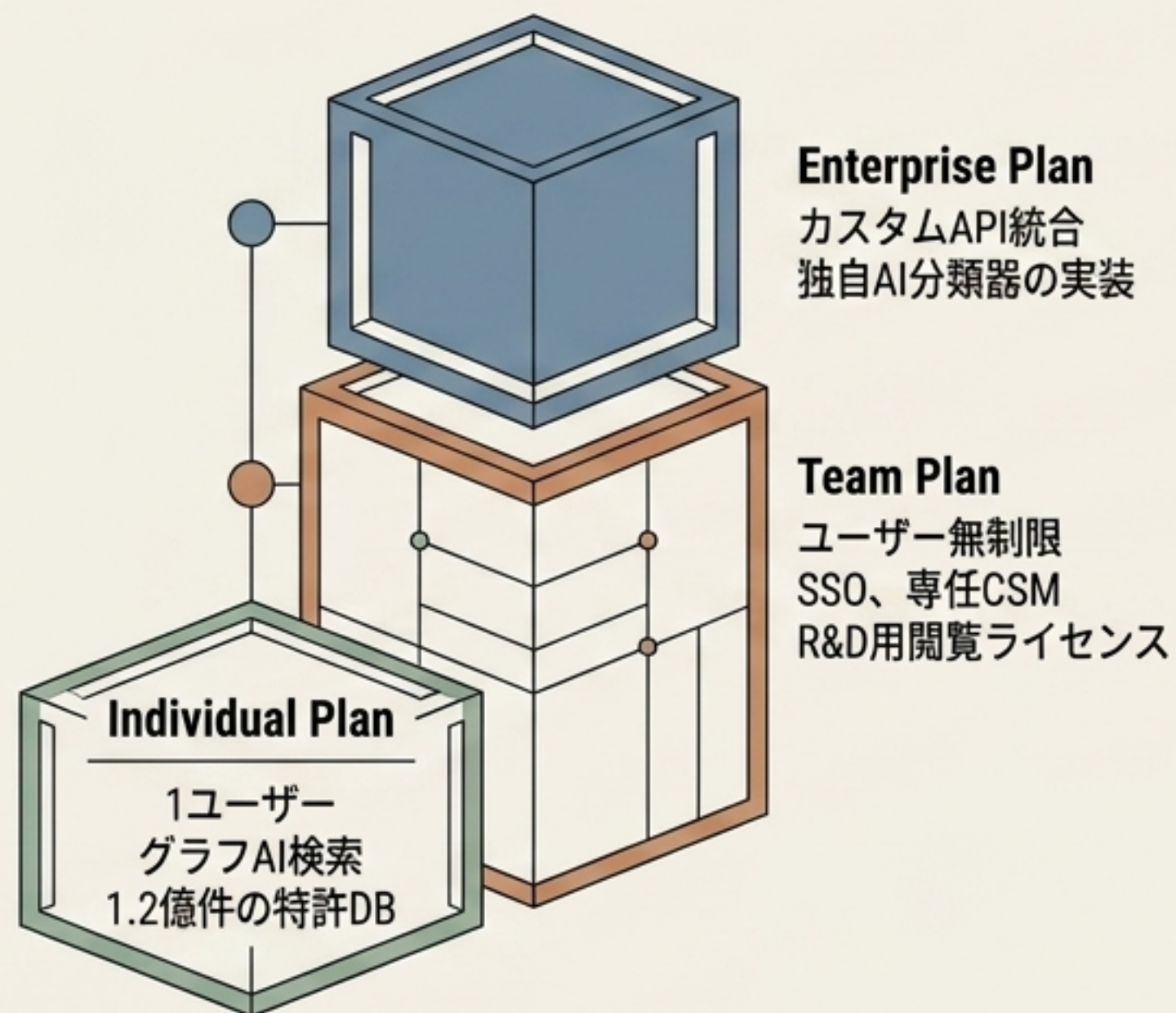
知財AIプラットフォーム市場における競合優位性マトリクス

プラットフォーム	コアAIアーキテクチャ	主な強み (Strategic Advantage)	限界・懸念点 (Limitations)
IPRally	グラフAI + 生成AI	構成要素レベルのXAI クレームチャート自動生成	NPLや意匠特許の網羅性が限定的
PatSnap	大規模DB + 多角分析AI	2億件の圧倒的データ量 バイオ・化学特化	大企業向け高額価格 学習コスト大
PatSeer	ブール + セマンティック	柔軟な検索式カスタマイズ	非専門家には操作が複雑
Amplified AI	深層学習ベクトル検索	概念検索による発見性	明細書作成やFTO機能が手薄
Solve/Deep IP	特化型生成AI (Copilot)	MS Word連携での高速 ドラフティング	検索・分析機能が弱い

結論: IPRallyは、深層的な構造化検索と生成型ドラフティング・ワークフロー間のギャップを埋める唯一のプラットフォームである。

導入に向けたライセンス構造と客観的制約事項の評価

柔軟なライセンス体系 | G2評価: 4.7/5



現状のプラットフォームの限界 (Limitations)

データ網羅性の偏り

特許文献の検索精度は極めて高い反面、非特許文献（NPL）や意匠特許へのカバレッジは限定的。

エコシステム統合

既存の特許管理システム（IPMS）とのネイティブなプラグアンドプレイ連携はなく、カスタムAPI開発が必要。

コスト構造

Agent、Intelligence、Protectionの全モジュールをフルロードする場合、エンタープライズ規模の投資が要求される。

単なる検索ツールから「統合型知財インテリジェンス・フライホイール」へ

Phase 3: Protection (権利化)

マッピングされた洞察が直接ドラフティング・コパイロットに供給され、先行技術を回避したクレームを作成。

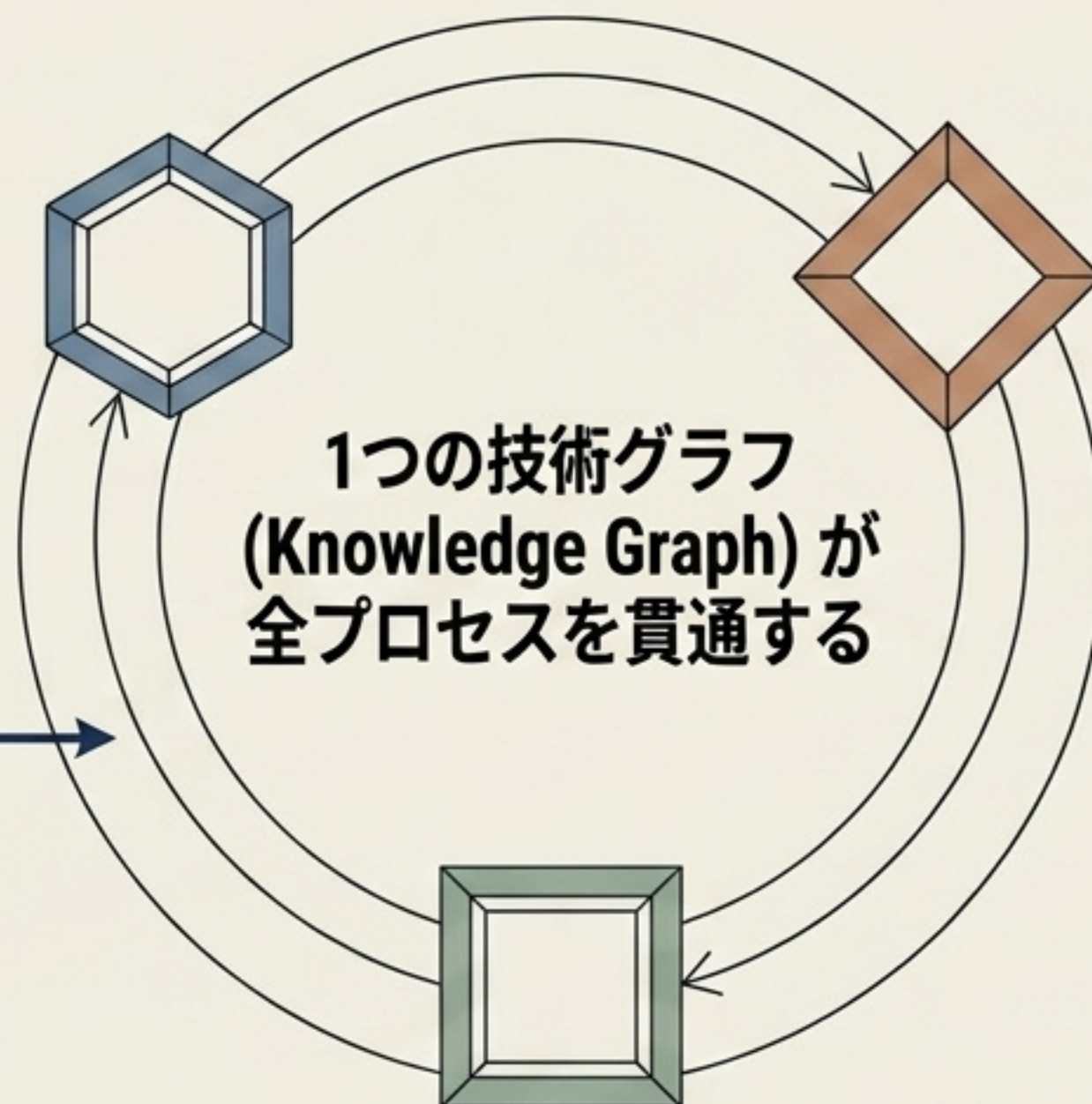
Phase 1: Search (探索)

エージェントが発明開示書を数分で構造的ノードに変換し、検証済みの先行技術を発見。

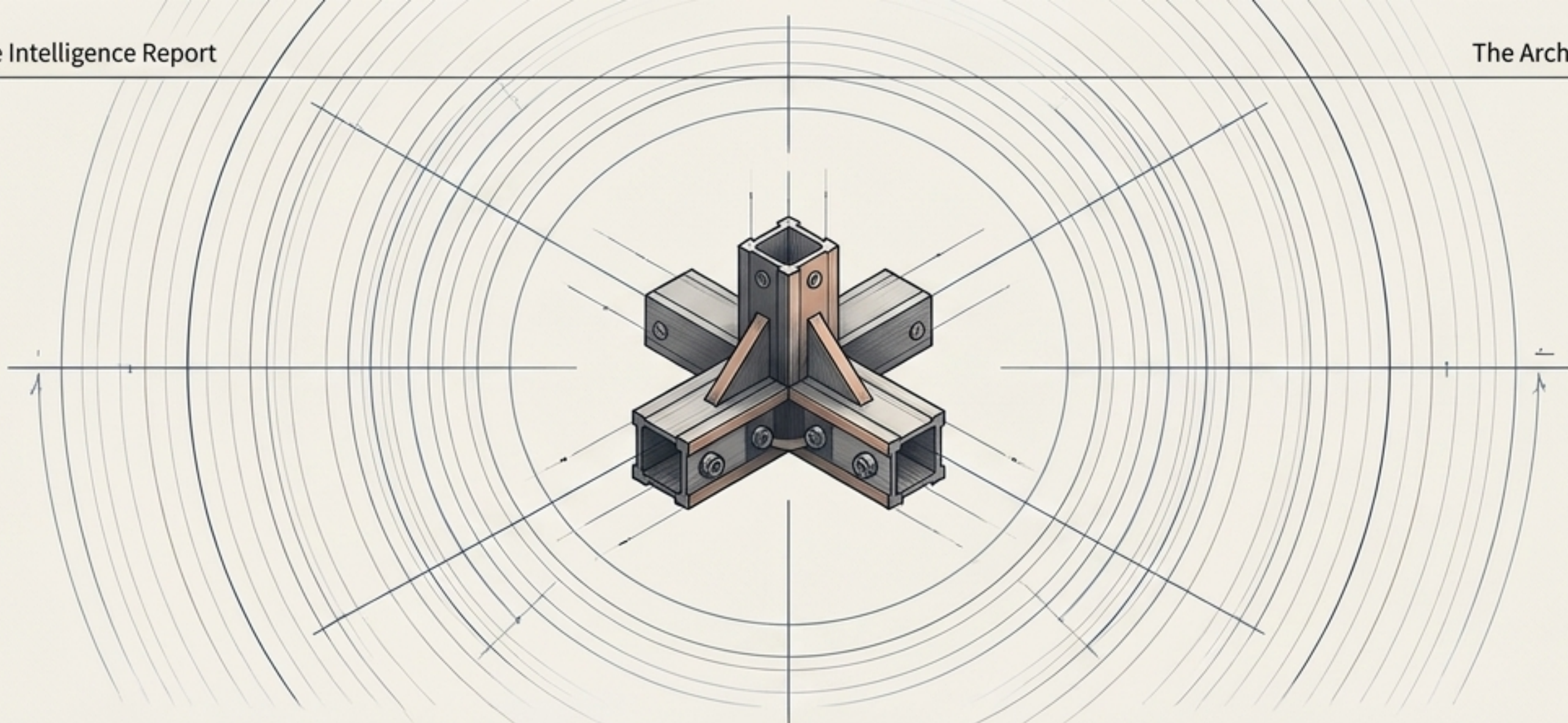
Phase 2: Intelligence (俯瞰)

同じ構造化ロジックを用いて競合ポートフォリオをマッピングし、技術的ホワイトスペースを特定。

発明アイデア →



単一かつ構造的に堅牢なグラフAI言語を特許ライフサイクル全体で活用することで、IPRallyは企業の知財創出スピードと防御力を根本から変革する。



知財実務のパラダイムは「検索」から「文脈の構造化」へ

戦略的優位性 (Strategic Advantage)

IPRallyのグラフAIは、レガシーなキーワード検索の主観性と、汎用LLMが抱えるハルシネーションの双方を完全に排除する。

エンタープライズの即応力 (Enterprise Agility)

数学的な説明可能性 (XAI) を維持しながらワークフローを数週間から数分へ短縮。知財部門をコストセンターから俊敏な戦略的資産へと変革する。

結論: ISO 27001 / EU AI Actに準拠したセキュアな環境下で、先行技術調査から権利化までを単一のAI ロジックで統合する、先進的企業にとって不可欠な次世代プラットフォーム。